

北海道の先生になろう



令和6年度（2024年度）

北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査

※北海道採用希望者向けです。札幌市採用希望者は、札幌市のホームページをご覧ください。

受付期間 **4月7日(金)～5月2日(火)**

受検には「Webエントリー」「書類提出」の両方が必要です。
詳しくは、3月中に公開予定の実施要領をご覧ください。

結果発表 **9月29日(金)**

北海道教育庁教職員局教職員課 教員選考検査係 ☎011-204-5726

詳しくは北海道教育委員会のホームページをご覧ください。
<https://www.dokyo1.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/138776.html>

1次検査 **令和5年(2023年) 6月18日(日)**
会場：東京・大阪・札幌・岩見沢・函館・旭川・釧路

2次検査 **令和5年(2023年) 8月4日(金)～6日(日)**
会場：札幌・岩見沢・函館・旭川・釧路



**北海道では期限付教員（臨時的任用）も募集しています
少しでも関心のある方は「任用システム」に登録を！**

- ・「教諭」としての任用（経験・年齢不問）です。
- ・「期限付教員特別選考」の受検の道が開きます。（※条件あり）
- ・給与は、原則、正規教諭と「同等」です！赴任には「引越費用」が支給されます！

北海道教育庁教職員局教職員課 小中学校人事係 ☎011-204-5722

詳しくは教員採用ポータルサイト「臨時教員の募集」をご覧ください。

▼任用システム



▼ポータルサイト



北海道の受検を迷っている方

「働き方改革」や「若手教員の声」をご覧ください

教員一人一人の 働きやすい環境を目指して

北海道では、「教員が、自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うこと」を目的として、学校における働き方改革に積極的に取り組んでいます。



学校における働き方改革のページ

詳しくはこちらを
ご覧ください



若手教員への支援

若手教員が悩みを共有し合う機会を設け、指導主事等による支援に努めています。



専門スタッフの配置推進

教員業務を補助するスタッフや部活動指導員等の配置を進めています。



ICTを積極活用した業務等の推進

教材の共有化など効率化のためのICTの活用を推進しています。

北海道では、働き方改革の取組の結果、超過勤務時間が減少してきています。



部活動休養日等の完全実施

教員の負担が過度にならないよう、全ての学校で部活動の休養日等を設定しています。



部活動の地域移行に係る実践研究

国と連携し、休日の部活動を段階的に地域へ移行する実践研究に取り組んでいます。

(参考) 1日当たりの学内勤務時間(教諭)



その他： 勤務時間の計測・記録、働き方改革手引き「Road」の活用による業務改善、スクールロイヤー制度の導入、学校閉庁日の設定、地域との協働の推進など



高等学校
胆振管内
石川教諭

私が困った時は親身になって悩みを聞いてくれます。

失敗をした時には的確なアドバイスを頂いたり、時には叱ってくださったりする先輩教員がいる環境なので、教員として多くのことを学ぶことができています。

サポート体制



特別支援学校
後志管内
大野教諭

体調不良等で休んだ時には、周りの先生方は体調を気遣ってくださり、授業等のサポート体制が確立されています。

仕事で分からぬことを聞いた時には、どの先生も快く教えてくれます。



中学校
上川管内
工藤栄養教諭

「地元食材」という生きた教材に囲まれながら、食に関する指導を行えることは、北海道ならではの魅力だと思います。

地元食材を活かした企画を実施した時は、子どもたちから様々なアクションがあり、刺激的な日々を過ごしています。



小学校
根室管内
塩沢教諭

「ありがとう」と言われた時、子どもたちが笑顔になった時、「わかった!」「もっと学びたい!」の声が聞こえた時など、この仕事には、心が動かされる瞬間がたくさんあります。

大変なこともありますですが、皆さんと一緒に教育現場で奮闘できる日を楽しみにしています。

応援メッセージ



中学校
石狩管内
渡辺養護教諭

生徒と関われば関わるほどやりがいを感じられるお仕事だと思います。

そのためには、自分の体と心の健康が第一だと思うので、悩んだ時は一人で抱えず、リフレッシュをしながら楽しむ仕事ができるよう、頑張ってください。



中学校
宗谷管内
丹治教諭

大学卒業後、支援員として勤務していた時に生徒の頑張りや成長と出会い、教員になろうと決意しました。

同僚の先生方はもちろん、地域の方々とも一緒に協働しながら生徒の成長を支えることができるというのが、北海道で働くことの魅力であり、やりがいだと思います。